

4WD ドライブインフォメーション

ご自分で4WDを運転される方のために、...

フレーザー島の道はすべて砂の道です。フレーザー島をご自分で運転して回ってみようという方は4WDの車が必要です。リゾート内には4WDレンタカーオフィスもありますのでご利用ください。

レンタカーは半日もしくは1日単位でご利用できます。日本の方が運転される場合は国際免許が必要です。また、最初に保証金として500ドルをいただきます。これは、車の返却時に問題がなければ全額払い戻しされます。(通常はクレジットカードの写しをお預かりするだけです。)

また、フレーザー島に入るすべての車は入島許可書が必要となります。個人でご利用の場合は1ヶ月有効(あるいはレンタカー利用期間)で\$35です。これはレンタカーオフィスであわせて購入できます。島内観光中にしばしばナショナルパークのレンジャーが見回っておりますのでこの許可書は車のフロントガラスのよく見える場所に貼り付けて走行するようにお願いいたします。

フレーザー島を4WDで走るときのご注意：

1. 4WDを運転される前に必ず安全運転のためのビデオをご覧ください。(レンタカーオフィスにて)
2. 島の道路は天候によって砂の状態がかなり違います。乾いている状態では砂が巻いて進行が出来なくなる可能性もあります。またビーチの走行は思わぬギャップや砂がやわらかくなっているところがありますので、十分にお気をつけください。また小川を通過することがありますが、通過中には絶対にまらないように浅瀬を見つけてゆっくりと走り抜けてください。
3. 東側のビーチの走行は干潮時が適しています。満潮時の前後2時間はビーチの走行は危険です。その日の干満の時間を確認してから旅のプランをたててください。レンタカーオフィスにて詳細をご案内しております。また、レンタル時にお渡しする地図の中で走行不可と指定されている場所には絶対に入らないようにお願いいたします。また夜間の走行も危険ですので、日没までにリゾートに戻れるようなゆったりとしたプランをたてることをお勧めします。
4. 4WDでの走行は安全運転をお願いします。島内の制限速度は35Km/h、ビーチの制限速度は80Km/hです。島では一般の国内の交通法規が適応されますので、飲酒運転、スピード違反は罰金や処罰の対象となります。シートベルトは運転者も同乗者も必ず常にお締めください。
5. 島内の道は指示のない限り両側通行です。左側走行を守り、追い越しや右左折には必ず方向指示器で確認してください。また狭い道で対向車が来たときは、近くに退避場所がないか確認してお互いに譲り合って走行してください。(勝手に森を待避所にしないでください。自然破壊につながります。)特に対向車が大型バス、牽引車両、また対向車が下りの時は、そちらを優先してください。
6. 東側のビーチでは、歩行者、釣り客ならびに小型機が滑走路として利用しています。これらを確認されたときは、スピードを落として周囲に十分注意して走行してください。Eurong, Happy Valley, Maheno 周辺は小型機が離発着し、近くに人がいることが多いので十分お気をつけください。
7. ビーチを走行中にディンゴをはじめ海鳥などの野生動物に遭遇することがあります。野生動物を脅かすことがないように十分距離をとって走りましょう。

フレージャー島の主な見所ご案内

(地図のバスツアールートを北のビーチ側から順番にルートに沿ってご覧ください。)

Indian Head インディアンヘッド

太平洋を見渡す美しい岬。1770年キャプテンクックによって名づけられた。

Cathedrals Beach カセドラルビーチ

南のピナクルズまでは、様々な色のカラーサンドによる砂の崖が続く。断面は高さ15mにも及ぶ。

The Pinnacles (Coloured Sand) ピナクルズ・カラーサンド

カセドラルと並ぶカラーサンドの崖。島の地質については、フレージャー島情報をご覧ください。

Maheno Wreck 難破船マヒノ

客船として建造され第一次大戦中には医療船として使用。1935年に日本への航海中、嵐にあってこの砂浜に座礁。リゾートのレストランの名前はここから取ったもの。

Eli Creek イーライクリーク

島内の最大の小川。砂を通ってろ過された雨水が島内から湧き出て、やがて小川となって海に流れ出ている大変ピュアな水。

Rainbow Gorge レインボーゴージ

カラフルな砂によって形成された砂丘。東側の海岸から1周1.9キロの周遊道がある。

Stonetool Sandblow ストーントゥール サンドブロー

今も静かに砂が動いて体積活動を続けている砂丘

Lake Wabby ウォビー湖

島内で湧き出た水によって出来た小川が砂の動きによってせき止められた湖。

島の中でも一番深い(11m)湖で、静かな森の端に位置し、先住民にとっては聖なる湖とされていた。

展望台から砂丘を越えて湖、さらに東側のビーチまでは1時間ほどの格好のウォーキングコース

Basin Lake ベイسن湖

高い木々に円形劇場のように囲まれた静かな湖で海拔より高い所に出来た湖。

Central Station セントラルステーション

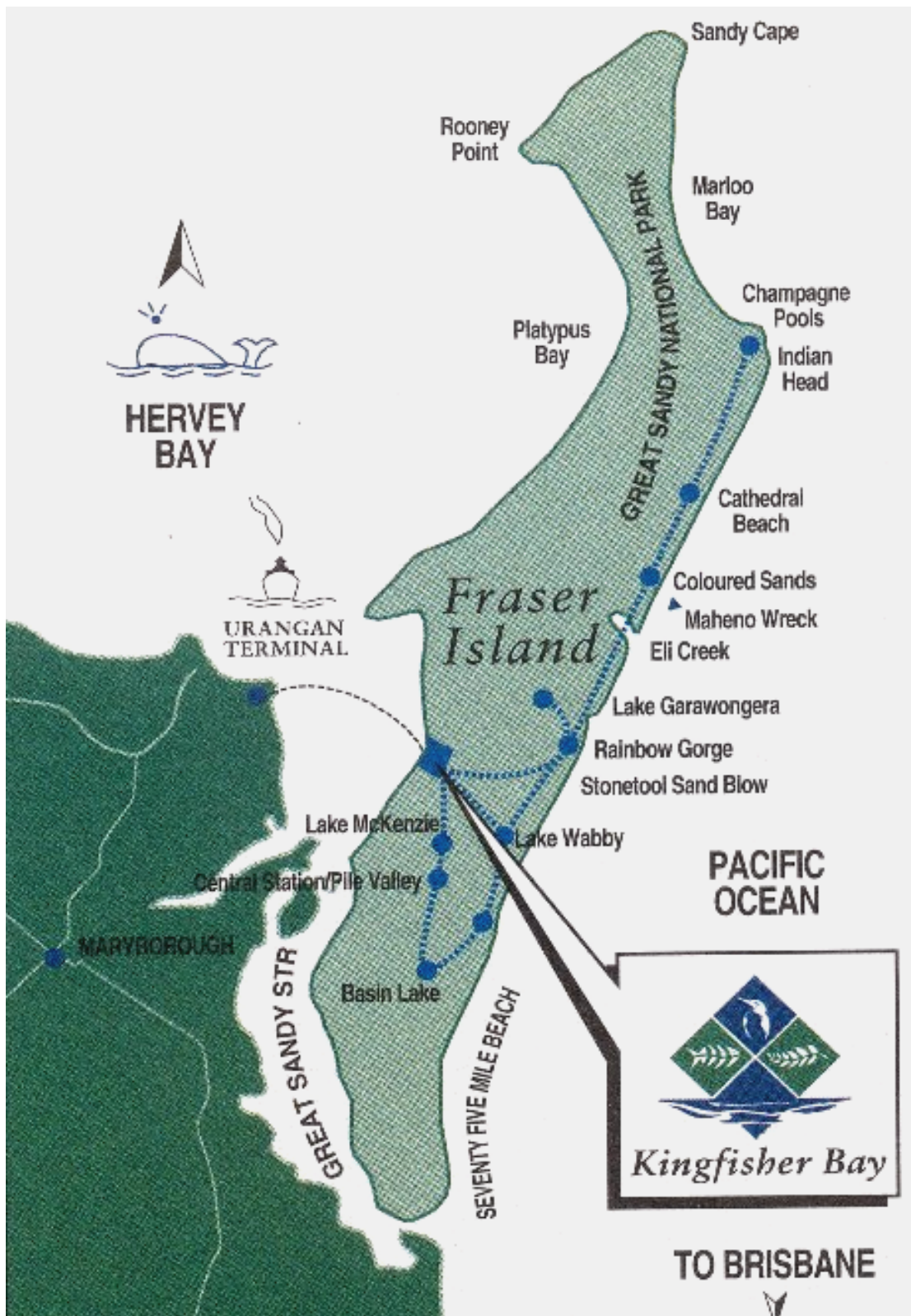
林業盛んだった時代の木材集積場は、現在ではキャンプ場などレクリエーションの場所として利用されている。ワングルバククリーク沿いの亜熱帯雨林の散策道はぜひ歩きたい。

Pile Valley パイルバリー

スエズ運河の改修工事にも使用されたサティネーの木々が生い茂る森林。

Lake Mackenzie マッケンジー湖

真っ白なシリカサンドとコバルトブルーの水の色のコントラストが鮮やかで美しい湖。スイミングスポットとして人気がある。



青の点線が4WDバスツアーでまわるところです。